



会長 高山泰四郎
幹事 坂本肇

会長テーマ

「ロータリーの魅力を探ろう！」

- ・例会出席によって……
- ・委員会活動の実践で……
- ・地区行事への参加で……
- ・家庭集会の場で……

例会日／毎週月曜日 12:30～

例会場／トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386



2013～14年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を」

R I 会長
RI第2720地区ガバナー
ガバナー補佐

ロンD・バートン
赤山武興
赤嶺昭

■ 本日のプログラム (6月16日)

| | |
|-------------|--------------|
| 12:30 点 | 鐘 |
| 会 | 食 |
| ロータリーソング | 「それでこそロータリー」 |
| ゲスト・ビジターの紹介 | 会長 高山泰四郎 |
| 会長の時間 | 会長 高山泰四郎 |
| 出席報告 | 出席担当 穂田英一郎 |
| 幹事報告 | 幹事 坂本肇 |
| 委員会報告 | 「関係委員会」 |
| ニコニコタイム | 吉良昌一 |
| 今週のお祝い | |

- ・在籍記念日：箱田恭彦会員 (5月23日：3年)
吉良昌一会員 (5月30日：3年)

13:00 クラブ協議会「新年度の取り組みについて」

■ 第38回例会の記録 (6月9日)

・出席報告 (6月9日)

| | |
|-------|-----------------|
| 会員総数 | 17名 (うち名誉会員 2名) |
| 6月9日 | |
| 出席免除 | 2名 |
| 出席会員数 | 11名 |
| 出席率 | 73.33% |
| ゲスト | 2名 |
| ビジター | 0名 |
| 5月26日 | |
| 修正出席率 | 92.85% |

■ 次週の例会 (第40回 6月23日)

- ・佐藤会員・藤田会員歓迎会
今年度最後の親睦夜の例会
19:00～ 「にしおか」にて

ロータリーソング 【それでこそロータリー】

どこであつてもやあとと言おうよ 遠い時には手を振り合おうよ
見つけた時にゃ それでこそ
おいと呼ぼうよ ロ-ロ-ロータリー

会長の時間 (6月16日) 会長 高山泰四郎

「ゲーテの言葉」

世の中には「名言」や「箴言」と言われるものが、数多く残されています。人それぞれに、好きな言葉や座右の銘を持っており、人生の指針として活用しています。私の書棚に『いきいきと生きよーゲーテに学ぶ』という一冊があります。著者は、元東大教授で文学博士であった手塚富雄氏です。

この中の一節に「人間のことは考えるな、事柄を考えよ」というゲーテの言葉が出ています。前後を入れ替えて「事柄を考えよ、人間のことは気にするな」と言い替えれば、この言葉の意味するものが良く分かります。自分の発言や行動を決定するに当たり、対人関係に気を奪われてはならない。ただ事柄だけを主にして考えよ、とゲーテは強調しているのです。

著者はこれについて『何か問題について、これこれの意見を持っているが、それをハッキリ口に出すと、上長や先輩の不興を招いて、自分の為にならなくなるのではないかと考え、つい臆病になることがある。その時は思い切って視点を変えて、その事柄のために良いことは何か、と考えるべきである。そうすると、心のためらいは少なくなり、自分の良いと思うことを言ったり、行動する勇気も湧いてくる。そして、その結果は大概良いものである。それは、事柄に忠実であるという態度が、相手にも通じるからである。』と述べています。

気が弱くて、言いたい事の半分も言えない小生には、とても勇気付けられるゲーテの言葉です。人生のあらゆる場面で、常にこのようにありたいものです。ロータリーとは「四つのテスト」という素晴らしい行動指針がありますが、それと併せて、この言葉を実践するように努力したいと思います。

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト

姫野 由香 様 (大分大学工学部助教授)
河野 聡 様 (入会予定者)

ニコニコタイム (6月9日分)

★藤田 敬治 会員 (自主1口)
大分合同新聞夕刊(釣り)に掲載されましたので、ニコボックスいします。

「市街地再生の要件 大分中心街地への投影」との演題で卓話をして頂きました。

| | |
|---|--|
|  | <h3>市街地再生の3つの要件</h3>  |
| <h3>市街地再生の3要件：戦略への提言</h3> <p>■2014年 2月 都市再生特別戦略部改正</p> <p>一大都市向け 「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」などの立地適正化(戦略)とインセンティブ(容積緩和)の準備</p> <p>一地方都市はどうしたら?? 1) 人口が増えないことを前提とした都市構造の一層「シビア」なチェック (特に居住誘導区域の設定と誘導するための制度準備) 2) 一色(一神)と考えてきた「中心市街地」を改めて「シビア」にみる 色分けできるゾーンがないか? 広すぎないか?</p> <p>どこに(選択)何を(集中)させるのか 運営主体が影響できる範囲とする</p>  | <h3>選択と集中</h3>  <p>大分中心市街地の範囲</p> |

【卓話者のプロフィール】



大分大学工学部助教 博士(工学)

1975年大分県大分市生まれ

大学院終了後大分大学工学部助手として任用される。2004年9月に論文博士として学位取得(博士(工学))。専門は建築・都市計画。学位論文は「地形モデルによる大規模景観の解析と景観誘導システムに関する研究」である。

現在は、良好な景観創造における教育の重要性や、景観維持を支える産業、制度の重要性を考慮し、郷土大分県への地域貢献を目指し研究活動を続ける。また、自立的な地域運営の方向性に関する研究を、社会的課題となっている中心市街地から中山間地域や離島地域にフィールドを広げて取り組んでいる。

「ロータリーを知ってもらおう」

ロータリーの友6月号より

2月23日に全国で一斉に「ロータリー活動の公共イメージ向上作戦」を展開

第2580地区ガバナー 吉田 建二(東京田無RC)

全国34地区のガバナーで構成される「ガバナー会」(議長舟木いさこ・第2750地区)では、全国統一の活動として、「ロータリー活動の公共イメージ向上作戦」を、ロータリー創立記念日の2月23日を含んだ数週間にわたり展開しました。実施に当たって、どのような活動を取り上げるのか、どのようなメディアを使うのかなど詳細は、それぞれの地区で決めましたが、予算や準備期間などの都合で独自の素材を用意できない地区のために、希望する地区には私たちの第2580地区が作成した画像を提供しました。

画像は、ロータリーの誕生日2月23日、世界からポリオをなくそう、米山記念奨学金、地区青年交換プログラム、ロータリー希望の風奨学金、ロータリーは職業を通して奉仕活動をする団体です、の6枚で、地区番号を入れ替えたり、違う画像を差し込んだりすることができるように作られています。

当地区では、地区および各クラブのホームページ上で、上記の画像を流す取り組みを行いました。また、各クラブから協賛

していただける事業所のホームページに、この画像を張りつける活動も展開しました。

さらに、2月23日の前後に、当地区の副幹事の星野陸郎氏(東京北RC)が代表を務める(社)日本パブリックビューイング協会や、ロータリアンの企業の協力により、全国各地域の繁華街にある大型ビジョンでもロータリーを紹介するスポット映像を流しました。北海道札幌市2か所、東京都内6か所、愛知県名古屋市、福岡県福岡市、沖縄県那覇市・宜野湾市の合計12か所で、6つの静止画像を30秒単位、計2万5,947回放映しました。

都内では地区クラブ奉仕委員会の協力を得て、「公共広告イメージアップ作戦」と名づけた事業を展開。人通りの多い、渋谷ハチ公口交差点、原宿・神宮前交差点、有楽町・数寄屋橋交差点、新宿東口・南口、六本木交差点で放映し、多くの人たちの目に留まったと思います。この活動により、一人でも多くの人たちがロータリーに関心を持ち、よき協力者、ひいてはロータリーの仲間になってくれることを期待しています。